

第 62 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事メモ

日 時：令和 2 年 11 月 24 日(火) 10：30～11:30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 県の衛生環境研究所が分析した感染経路について報告があった。
- ◇ GoTo 事業について国が都道府県の判断を求めるという報道を受け、対応に係る認識を確認し、県の考え方を、知事コメントとして発出することを決定した。

1 参加者

謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、宮沢 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、長嶺 農林水産部長、上原 土木建築部長、嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

総括情報部から昨日の新規陽性者の発生状況について報告

- 総括情報部から新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 昨日、県内の陽性者が累計で 4 千名を超えた。
 - ✓ 新規陽性者数が 16 名と比較的少ないのは、保険診療の数が少ないため。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 県内に入院中の新型コロナウイルス感染者のうち、20.3%が各県立病院に入院している。
 - ✓ 県立北部病院は北部医師会病院と機能を分担するなどの連携をされており、病床数に余裕があるため、中南部からの転院を受け入れることが可能な状況。

- ✓ 中部病院については、病床確保に日々追われている状況。
- ✓ 宮古地域では市中感染が確認されていない状況にある。厚生労働省の指導員からの助言で、商工会や保健所と連携して夜間の繁華街を見回りしており、効果を発揮している。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から米軍基地関係の新規陽性者の発生状況を報告【資料2】
 - ✓ 昨日、キャンプシュワブで1件の新規陽性者発生の報告があった。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について

- 総括情報部から警戒レベル判断指標の状況について報告【資料3、資料3-3】
 - ✓ 新規感染者数は、徐々に増加しており直近1週間の新規感染者数は第4段階に達している状況となっている。
- 総括情報部から一週間あたりの新規感染者数の全国比較（人口比率）について報告【資料3-1】
 - ✓ 人口10万人あたり新規感染者数は、北海道が1位、大阪府が2位、東京都が3位、沖縄県が4位となっており全国的に感染が拡大してきている。
- 総括情報部から各市及び各保健所管内の1週間毎の感染者新規発生状況について報告【資料3-2】
 - ✓ 那覇を含む中南部地域で多くの感染者が確認されている。
- 総括情報部から新規感染者に占める高齢者の割合について報告【資料3-4】
 - ✓ 10月以降減少傾向にあったが、前週より増加しており重症化が懸念される。
- 総括情報部から患者受入医療機関職員の就業制限状況について報告【資料3-6】

- ✓ 医療従事者の休業が多い状況が続いている。医療従事者の休業が多いと、病床が空いていても患者を受け入れることが難しくなる。
- 総括情報部から季節性インフルエンザ流行状況について報告【資料 3-7】
 - ✓ 最近、インフルエンザの感染者は確認されていない。
- 総括情報部から陽性者数の推移と実行再生産数の推定について報告【資料 3-8】
 - ✓ 実行再生産数（R）は 1 を上回っており、今週 1 週間は 1 日 30~40 名程度の新規感染者が確認されると予想される。高ぶれする可能性も考えられる。

（４）宿泊施設の運用状況について

- 総括情報部から軽症者用宿泊療養施設の入居者数について報告【資料 4】
 - ✓ 宮古地区、八重山地区の入居者はゼロであるが、那覇市内の療養施設の稼働状況が上昇している。

（５）沖縄県人口変動状況について

- 総括情報部から KDDI Location Analyzer による滞在人口分析データを用いた状況について報告【資料 5】
 - ✓ 3 月の基準日に比べて繁華街エリアにおける人の動きは少なくなっているが、商業エリアや空港エリアでは人の動きが増加傾向となっている。

（６）クラスターの発生状況について

- 総括情報部から県内におけるクラスターの発生状況について報告
 - ✓ 10 月 26 日にコロナ警報を発出して以降にも、酒類を提供する飲食店でクラスターの発生が確認されている。

- ✓ 10月までは医療機関や高齢者施設でクラスターが発生していたが、クラスター支援チームの活動により発生が抑えられている。そのため、死亡例や重症化する高齢者が少ない。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料7】

- 総括情報部から宮古・八重山地域の感染状況について報告
 - 宮古・八重山地域について、1週間程度新規陽性者が確認されておらず、落ち着いてきているため、医療フェーズを5から4に引き下げた。

3 その他報告

- 文化観光スポーツ部からTACO等の運用状況について報告
 - ✓ 11月16日から11月22日までにサーモグラフィー前を通過した人は215,650人で、発熱を感知した人はいない。
 - ✓ 健康相談など電話対応した数は19件で保健所につないだケースが2件、県議員等の視察に対応した数は1件であった。
- 文化観光スポーツ部からRICCAの活用について報告
 - ✓ 11/20時点で29,907人がRICCA登録しており先週から1,433人の登録があった。登録事業所数は891件で、先週から290件増加している。
 - ✓ 事業者向けのクーポン登録について11月16日より利用申請登録を開始。
 - ✓ RICCA専用コールセンターを設置し、11月11日より稼働している。
 - ✓ 近日中にauユーザーにRICCA登録案内を予定している。

(質疑応答)

- 集中治療用病床占有率の数値が高い状況について質問があった。

- ✓ 総括情報部から、国基準の指標では、確保している ICU・HCU の数に占める ICU・HCU に入院している感染者の割合となっている。実際の重症者は 3 名であるため、重症者の受入には余裕がある状況であると説明。
- 軽症者・無症状者は基本的にホテルで療養し、例外的に自宅療養を認める方針であるはずなのに、宿泊療養施設の部屋数に余裕があるにもかかわらず自宅療養者が増えてきていることについて質問があった。
 - ✓ 総括情報部から、ホテルの運用に関して、療養者が退所した後、消毒を行い、3 日間空けて次の入所者受け入れとなるため、空室となってもホテルに入所できなくて自宅療養に回っている事例があることについて説明。
 - ✓ 総括情報部から、ホテルを運用する看護師確保が課題となっている状況について説明があった。北部のホテルでも看護師が足りなくて那覇から看護師を送っている状況にあるため、名桜大学や北部看護学校に看護師の応援を依頼することについて説明。
- 那覇や南部保健所管内で感染者の発生が高止まりしているのは、保健所業務がひっ迫していて、地域の感染抑制のためにマンパワーを割けないからか、と質問があった。
 - ✓ 総括情報部から、南部保健所は、発生した患者の調査や検査数の拡大には対応できている。那覇保健所も同様だと聞いている。昨日までの連休の影響で感染者が爆発的に増えたら厳しい状況になる。と説明があった。
 - ✓ 総括情報部から、市中感染を抑えるための地域での見回りについては、保健所から手が回せないため、市町村にお願いしたいと考えていることについて説明があった。加えて、沖縄市や浦添市でクラスターが発生した際には市の職員に見回りをお願いした旨説明があった。

- タクシー業界や運転代行業界では、お客さんからの感染リスクがあると考えられるが、感染対策に関する注意喚起等の呼びかけ状況について質問があった。
 - ✓ 企画部から、乗務員の感染予防策について呼びかけていると回答があった。
 - ✓ 他の業界についても、具体的な感染対策の工夫等について、それぞれの所管部局から呼びかけて欲しい旨の意見があった。

4 議題

(1) 政府のGoToキャンペーン事業への対応方針について【資料8】

- 政府のGoToキャンペーン事業について、その運用のあり方等について都道府県知事の意向を踏まえることや、都道府県知事に検討を要請する、等の政府の発表があった。これを受け、沖縄県としての方針を検討する必要がある、と総括情報部から、議題の提案理由について説明があった。
- 11月21日に開催された政府の新型コロナウイルス感染症対策本部資料について説明があった。【参考資料1 (<https://corona.go.jp/expert-meeting/>)】
 - ✓ 全国的に感染が拡大しており、特に急激に感染が拡大している自治体があるなど、厳しい状況にある。
 - ✓ 重症者・死亡者の発生を抑えるためにもクラスター対策が重要である。
 - ✓ 分科会から営業時価の短縮や地域の移動の自粛などの措置が必要であることに加え、GoTo事業の見直しについて提言があった。
- 11月24日に開催された全国知事会の内容について説明があった。
 - ✓ 新型コロナの急激な感染拡大を受けて全国知事会から国に対し、感染対策に係る国への協力依頼と併せて、GoToキャンペーン事業の運用に際しては都道府県知事の意向も踏まえることや、制度設計等について明確にすること、

さらにステージⅢの運用・判断についても明確にすること等に関する緊急提言を行った。

- 国の感染警戒レベル判断指標に直近の沖縄県の状況を当てはめると、「感染経路不明割合」「PCR 検査陽性率」以外の指標はステージⅢ相当を指している。【資料 8-1】
- 県内において 7 月以降に発生した感染者の推定感染源を詳細に分析した結果、「会合・会食」が 4 割以上、「家庭内」が 3 割弱等となっており、県外からの持ち込み事例とみられる事例は 2.8%である。【資料 8-2】
- 県対策本部内に医療機関・福祉施設支援チームを設置し、支援活動を展開していることで、施設におけるクラスター発生を未然に防ぎ、重症化・死亡リスクの高い感染者の発生を抑制している。【資料 8-3】
- 一部地域を GoTo トラベル事業から除外する、という総理発言に対する県内旅行業界からの反応について説明があった。
 - ✓ 旅行業界各社からは旅行そのものが感染拡大の原因とは言えない等の理由から、GoTo トラベル事業の継続を要望する声が上がっている。
- GoTo イート事業運用見直しを都道府県知事に要請する、という総理発言に対する県内関係業界団体からの反応について説明があった。
 - ✓ 11 月 20 日に県から「4 人以下での単位での飲食」という要請を発出して間もない時期であるため、その要請の結果を見て判断する必要があるのではないか、等の意見が関係団体からあげられている。
- 今週中に開催する予定の経済対策関係団体会議幹事会及び新型コロナウイルス感染症対策専門家会議からの意見を確認する必要がある、と提案があった。
- 今後、対象区域の考え方や具体的な制度設計など、国の方針等を確認する必要がある

ある、と提案があった。

(質疑応答)

- 国の指標に当てはめた本県の状況をみると、ステージⅢ相当の指標が多いとの指摘があった。
- ✓ 総括情報部から、国はどの自治体がステージⅢ相当と判断していない。国の資料で感染拡大地域としてあげられている4都道府県は、感染が急激に拡大している地域としてあげられている。
- ✓ 警戒レベルがどのステージにあるかは、数値だけではなく総合的に判断するものとされているところである。本県の感染状況をどう分析し、判断するかについては、専門家会議の意見も踏まえたい、と総括情報部から説明。
- 県としての方針は、国の方針に加え、経済団体会議や専門会議の意見を確認した上で判断することとし、知事コメントとして発表する旨了承が得られた。

(その他発言)

- 県の警戒レベルを引き上げる必要があると判断した場合、休業要請の実施等の対応が想定される。その場合、対象地域については、市町村単位とするのか、中南部地域とするのか、あるいは繁華街エリアに絞るのか、等についても専門家会議等からの意見を踏まえる必要がある旨の発言あり。
- 政府の対応方針が明確ではない中では、県の方針を決定できない旨発言あり。
- GoTo 事業の対象地域から外すのであれば、県全体ではなく、地域を限定して判断すべき、との発言あり。
- 県の医療体制の拡充やクラスター対策の拡充、検査体制の拡充、水際対策の拡

充を進めるべきとの発言あり。

- 国の対策本部会議資料には、GoTo 事業の見直し以外にも、営業時間短縮や移動の自粛などの措置についても記載されているが、これらについては別途検討するのか質問があった。
 - ✓ 総括情報部から、GoTo 事業以外の更なる対策については、県の警戒レベルの状況等を踏まえて検討が必要だと考える旨返答があった。
 - ✓ 知事から、県の警戒レベルが上がることによって、そのレベルに応じた対策の実施方針を発出する、という従来から行ってきたとおりの検討を進めたいとの発言あり。

5 その他

- 総括情報部から、県内で感染者が増えている状況にあり、3連休中にも宿泊療養ホテルの運用や入院調整、自宅療養者への対応等に各部局からの応援職員に対応いただいていることについて感謝の言葉があった。

6 閉 会

- GoTo事業に対する県の考え方について、知事メッセージとして発信することを確認して閉会とした。